

## 2. 市民力向上(市民学習・研修)事業

— 市民対象に多様な学習の機会として22コース、83講座を提供。のべ1,938人が受講。

協会は、A.「一般市民向け」の講座、B.「NPO関係者」向け講座、C.市民活動推進の「専門職対象の講座」と、多様な講座を開講している。2016年度は、3形態、22コース、83講座を開講、のべ1,938人が受講した。

また、他団体が開催する講座などにのべ123人の講師を派遣、1万2,675人が受講した。

### 1. 研修事業の全体像

市民活動に関する協会の研修事業は、協会主催で各種の講座を開催するとともに、外部からの依頼に応え、講座企画・講師派遣という形で、全国各地で市民活動に関する講演活動（出前講座）を行っている。

その参加者数の推移を図2-1に、主催講座の参加者の推移を図2-2に示す。主催講座参加者数は、主催講座件数が減少し、昨年度まで行っていたNPOなどのためのレベルアップ講座を実施しなかった結果（15年度303人）たことから、昨年度より339人減少した。また、講師派遣は講師ができる職員の退職により、減少傾向が続いている。

図2-1 研修事業の参加者数

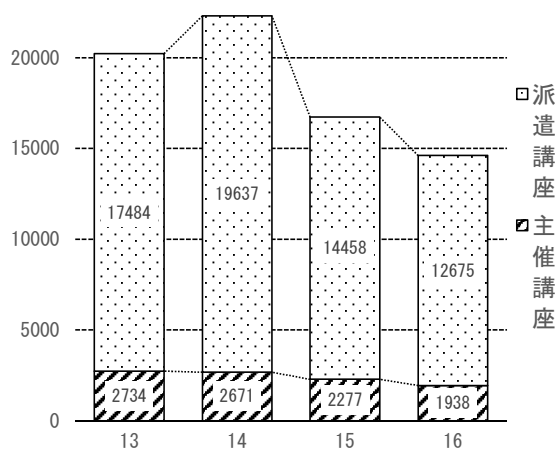
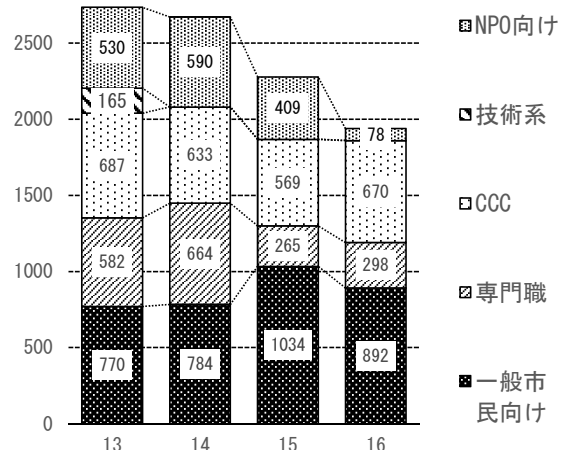


図2-2 主催講座の参加者のべ人数



### 2. 講座・研修会の開催

昨年度の主催講座数(事務局を担った共催講座を含む)は22コース(2015年度は24コース)、83講座(同99講座)のべ参加者数は1,938人(同2,277人)だった。以下、会場の記述がないものは、すべて「CANVAS 谷町」で開催。

#### 【A. 一般市民向けの講座：「市民力」向上の取り組み】

##### (1) 「定期総会記念講演会」の開催

定期総会記念講演会として、「できるやんか！一人間って欠けているから伸びるんやー」をテーマに実施した。

- ・日 時：2016年5月22日（日）10時30分～12時
- ・講 師：中井 政嗣（千房株式会社代表取締役） ・参加者：43人

##### (2) 「裁判員ACT2016 連続セミナー&公開学習会

「裁判員裁判から見えてくる社会的孤立とその課題」等の開催【新規】（大阪府共同募金会助成事業）

“裁判員ACT”＝裁判への市民参加を進める会チームでは、「ポスト50年『行動宣言』」を受け、新規事業として社会的孤立と司法の関係に焦点をあてた連続セミナー及び公開学習会を実施し、のべ166人が参加した。

これまで裁判員を経験した人から、「犯罪はなぜ起きてしまうの」「犯罪者となった人は裁判の後はどうなるの」「どのように社会復帰していくの」という声がよく聞かれるため、実際に起こった事件などから犯罪の原因を考え、社会の側がどう取り組むべきかを考える場を提供。特に福祉関係者や司法関係者らから好評を得た。参加費は各回1,000円（全回参加の場合や協会個人会員は割引あり）。また参加者のうち希望する者へメール情報「ACT

通信」の配信と、協会ブログや裁判員ACT公式 Facebook への同時情報掲載を行った。さらに参加者の次の参加の場として、傍聴カフェ11回、交流カフェ2回（6/17裁判員経験者との交流、11/19量刑について）、チーム研修（4/30グループ意見交換の進行、9/10今市事件に学ぶ）、有志企画（4/30司法担当新聞記者に聞く）なども行った。

（連続セミナー第1回）「彼はどのように罪を犯してしまったのか～社会的孤立と刑事司法～」

・日時：2016年6月19日（日）14時～16時30分 ・講師：辻川圭乃（大阪弁護士会） ・参加者：46人

（連続セミナー第2回）「彼は社会に出たあとどうしているのか～出所者雇用の取組み～」

・日時：2016年8月21日（日）14時～16時30分 ・講師：岡本昌宏（なんとかなる） ・参加者：44人

（連続セミナー第3回）「彼はどうかされたのか～裁判員裁判から見てくる社会的孤立～」

・日時：2016年8月21日（日）14時～16時30分 ・講師：池田直樹（大阪弁護士会） ・参加者：42人

（公開学習会）「私たちは裁判員制度にどう向き合うか～裁判員経験者たちの思い～」

・日時：2016年12月3日（土）13時30分～17時 ・参加者：34人

・内容と講師：第1部「裁判員制度—その意義と裁判員の役割」、講師：笹倉香奈（甲南大学法学部准教授）、第2部「裁判員経験者に聞く」、第3部「グループ討論」

（3）「はじめてのボランティア説明会」の開催（大阪市受託事業）

全31回。参加者：138人。詳細は第1章「ボランティアコーディネーション事業」で報告。

（4）震災復興応援イベント「3.11 from KANSAI2017」の開催協力

「3.11 from KANSAI2017～わたしたちの6年 つながる・そなえる・ささえあう～」を実行委員会制で開催

・参加者：375人。詳細は第4章「災害・復興支援、防災事業」で報告。

（5）「ボランティアリズム研究所」市民向け講座の開催（大阪府共同募金会助成事業） 詳細は第6章で報告

①「リサーチ&アクション・セミナー」・・・・・・2回。のべ参加者：49人

②『「ボランティア・NPO・市民活動年表」を読む会」・・・・・・3回。のべ参加者：55人

③「市民セクターが挑む、社会的孤立の抑制・解消への道程」・・・・・・2回。のべ参加者：66人

【B. NPO関係者向けの講座：「組織力・経営力」向上の取り組み】

（1）NPO入門研修（NPO法人設立・運営説明会シリーズ）（大阪府共同募金会の配分金を一部活用）

① NPO入門講座「はじめてのNPO説明会」

・開催日（個別）：2016年8月5日（金）、8月21日（日） ・参加者：計2人（15年度17人/年6回）

・内容：NPOとは？/市民活動を組織化すること/ NPOにとっての会員、役員とは

（2）その他のセミナー

①団体向け「Facebookの使い方」講座〔大阪市福祉ボランティアコーディネーション事業〕

Facebookを活用したいがどうやって始めればよいかわからない、というNPO・ボランティアグループを対象に、Facebookの使い方を学ぶセミナーを平野区社会福祉協議会と共催で実施した。

・日時：2017年1月21日（土）13時30分～16時30分

・場所：平野区社会福祉協議会 ・講師：谷田寛次（Weave Style） ・参加者：39人

（3）非営利法人格の選択と制度を考えるフォーラム in 大阪

（非営利法人格選択に関する実態調査委員会共催事業）

社会課題・地域課題解決のための組織が得るべき「法人格」はどうあるべきか？それらの問いや課題について、調査結果を基に話し合い、法人格の在り方について様々な非営利法人格の団体をパネリストに協議した。

・日時：2017年2月24日（金）13時30分～17時00分 ・参加者：37人

・場所：市民活動スクエア「CANVAS（キャンバス）谷町」 ・パネリスト：石原達也〔特活〕岡山NPOセンター 副代表理事、志場久起〔特活〕わかやまNPOセンター 副理事長、公財）わかやま地元力応援基金 元監事、細井大輔〔認定特活〕大阪精神医療人権センター 理事、永井美佳〔社福〕大阪ボランティア協会 事務局長、野地千晶〔大阪府府民文化部男女参画・府民協働課 府民協働グループ〕

・コメンテーター：山岡義典〔非営利法人格選択に関する実態調査委員会 委員長〕

・コーディネーター：新田英理子〔認定特活〕日本NPOセンター 事務局長



## 【C. 市民活動推進のための専門職養成講座】

### （1）「ボランティアコーディネーター養成講座」（第42期）

新任ボランティアコーディネーター向け。“一日でボランティアコーディネーションが分かる”共通基礎研修の後、施設・NPO・中間支援に分かれ事例検討を行った。（認定特活）日本ボランティアコーディネーター協会との共催。

- ・開催日：2016年7月9日（土） ・参加者：44人（のべ88人） ・会場：エル・おおさか
- ・講師：石井祐理子（京都光華女子大学）、岩本裕子（関西学院大学）、南多恵子（京都光華女子大学）、岡村こず恵（大阪ボランティア協会）

### （2）「ボランティアコーディネーション力検定・直前研修」（3級・共催、1級・協力）

（認特）日本ボランティアコーディネーター協会が主催の上記検定の直前研修の共催や、試験監督に協力した。

#### ①「3級検定直前研修」（共催）

- ・開催日：第21回＝2016年6月25日（土）、第22回＝2016年12月4日（日）
- ・参加者：第21回＝50人、第22回＝60人
- ・講師：第21回＝岡村こず恵（大阪ボランティア協会）、竹田純子（龍谷大学ボランティア・NPO活動センター）  
第22回＝岡村こず恵（大阪ボランティア協会）、青山織衣（岸和田市社会福祉協議会）

#### ②「1級検定試験監督」（協力）

- ・開催日：2016年9月25日（日） ・試験監督：永井美佳（大阪ボランティア協会／1級合格）

### （3）「そうだったのか！学生が集まる施設・団体の秘訣」（大阪市受託事業）

- ・第1回参加者23人 ・第2回参加者22人 詳細は第1章「ボランティアコーディネーション事業」で報告。

### （4）「ボランティアリズム推進団体会議（通称：民ボラ）in 茨城」（第34回）

「ボランティアリズム推進団体会議」の世話人として、第34回会議の企画運営に参画した。

- ・開催日：2016年6月18日（土）～19日（日） ・参加者：55人
- ・会場：トモスミとビル（茨城県水戸市）
- ・内容：基調鼎談「現在の若者による世論形成と、かつての市民運動をつなぐ」（講師：今野晴貴・清水康之・早瀬昇、進行：横田能洋）／分科会1「市民主導のまちづくり拠点」（講師：山口茂徳・原田啓司・進行：枝見太朗）または分科会2「『ケアする人のケア』を考える」（講師：佐々木令三・布川佐登美・進行：鍋島洋子・神元幸津江）／分科会3「政治と市民活動の距離感をはかる」（講師：鈴木知幸・村田恵子・岡本榮一、進行：鳥羽茂）または分科会4「市民活動支援組織だからこそできる災害復興支援のあり方」（講師：頼政良太・浦野愛、進行：横田能洋）／クロージング・ディスカッション「若者の社会参画の環境づくりを考える」（講師：塚本竜也・岩井俊宗、進行：枝見太朗）など

### （5）企業担当者向け研修会の開催（第5章で詳細を報告）

- ①「フィランソロピー・CSRリンクアップフォーラム」・・・・・・・・・・6回。のべ参加者：235人
- ②「リンクアップ・フォーラム・自主ゼミ」・・・・・・・・・・3回。のべ参加者：31人
- ③「ウメキタ朝ガクプロジェクト」・・・・・・・・・・12回。のべ参加者：247人

## 3. 他団体主催講座等への講師派遣・委員派遣・視察等

### （1）講師派遣の実績

主催講座の一方で、協会では社会福祉協議会、NPO支援センター、行政、企業、市民団体など他団体が開催する「ボランティア講座」「ボランティアコーディネーター研修」「NPO運営セミナー」「協働研修」「CSR研修」などの講座に、職員などを講師として派遣している。

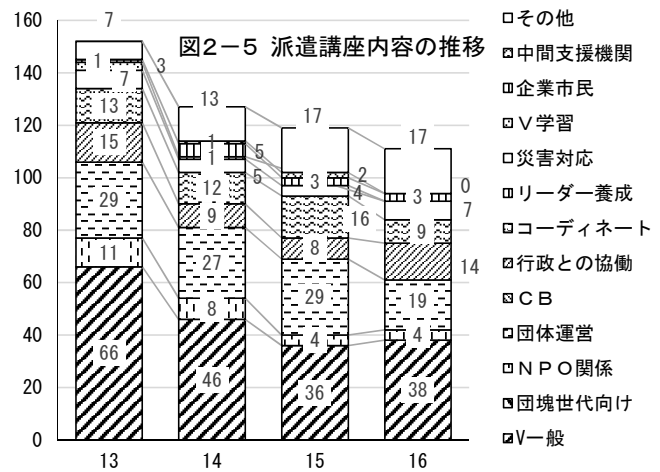
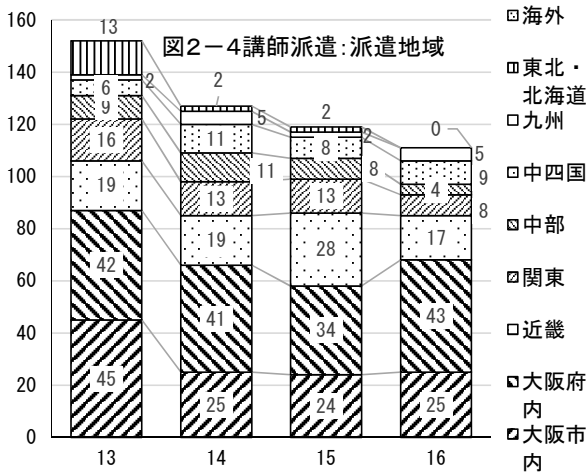
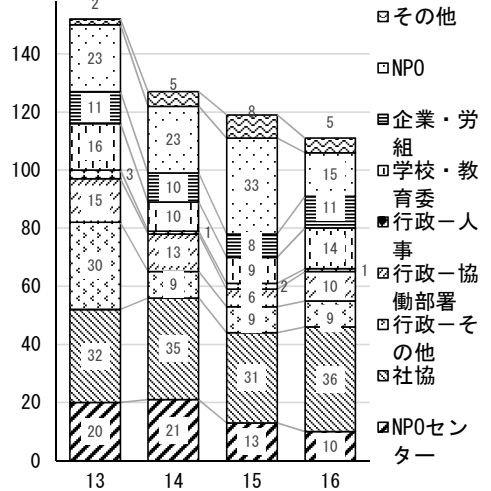
2016年度は239件（前年度236件）の派遣があった。その内訳は、調整の伴う講師派遣123件、協会への視察対応11件、非常勤講師95件で、派遣者は外部講師17件、職員67件、早瀬常務32件、CCC企画受託7件である。これらの講師派遣等での受講者数はのべ12,695人（前年度14,490人 ※昨年度報告書から、視察対応の受講者を追加）に達した。依頼内容は、図2-5に示すように、ボランティア全般に関する内容が最も多く、ボランティアコーディネーション、NPO運営、協働などの依頼も多い。2016年度は、講師をしていた職員の退職により、派遣件数が減少したが、職員1人の件数は増加している。講師料についてもていねいに交渉し、単価は増加している。

また、日程等の条件が合わずキャンセルとなった件数は13件(前年度28件)で、依頼を受けたものはなるべく断らないように調整をした。

**（2）非常勤講師・委員派遣等の実績**

依頼を受けて派遣する講師のほか、職員などが非常勤講師として、大阪大学、関西大学、龍谷大学、神戸女学院大学、甲南女子大学、四條畷学園大学などで、「ボランティア論」「市民活動論」「NPOボランティア論」「CSR論」「プロジェクト・マネジメント論」などを担当している。また行政や社会福祉協議会、NPO支援センターなどから委員会、審議会、審査会などの各種委員等の派遣を行っており、2016年度は80件（前年度80件）の派遣があった（講師派遣実績には含めず）。協会事業やCANVAS谷町の運営等の視察対応は11件（前年度2件）行った。視察の件数は大幅に増加しているが、特に韓国やタイなど海外からの視察依頼が多かった。

図2-3 講師派遣：依頼団体属性



**（3）チーム・委員会等が講師や講座企画相談に応じた実績**

①元『『日本語でつたえるコツ』 広げる委員会』の出張ワークショップ開催実績

多文化子育て支援ガイドブック『日本語でつたえるコツ』をテキストとして出張ワークショップを各地で開催。

- ・日 時：2016年6月30日（木）10時40分～12時10分 ・出張先：甲南女子大学
- ・日 時：2017年2月10日（金）13時30分～15時00分 ・出張先：識字・日本語豊中連絡会
- ・日 時：2017年2月27日（月）10時00分～12時00分 ・出張先：豊中市人権政策課

**（4）大学の実習指導の受託**

大阪経済大学人間科学部「ボランティア実習」の指導について、大学より委託を受け2010年度より実施。2016年度は「ボランティアとは」「NPOとは」等の授業を行うとともに、4人の学生（30時間の活動）を3団体にコーディネートした。（実習先団体：（特活）にしよどにコネット、にほんごサポートひまわり会、（特活）フェリスモンテ）

**（5）研修生・インターンの受け入れ**

2016年度に受け入れたインターンは下記の3人であった（研修生の受入はなかった）。

①甲南女子大学「インターンシップ体験演習」の受け入れ

- ・氏 名：尾崎好美（甲南女子大学文学部3回生） ・期 間：2015年6月～2017年1月
- ・活動内容：「ボランティアスタイル」事業への参画、学内掲示用参加者募集ポスターの企画立案・制作
- ・氏 名：中内理加（甲南女子大学文学部2回生） ・期 間：2016年6月～2016年8月
- ・活動内容：留学生・大学生をつなぐスポーツイベントの企画立案、『日本語でつたえるコツ』掲載団体の情報更新有無の確認事務
- ・氏 名：宍戸杏里（甲南女子大学文学部2回生） ・期 間：2016年6月～12月
- ・活動内容：命の大切さを子どもへ伝える絵本「命の食べ物」の企画立案・制作、犬の殺処分を無くし命を救うためのプレゼンテーション資料「犬の取り扱い説明書」の企画立案・制作